

7月4日(木)

骨形態計測ハンズオンセミナー 2019

- (1) 座学 13:20～14:50 (北九州国際会議場 2F 21 会議室 CD)
- ①動物実験のあり方～標本作製のための処置・固定
 - ②非脱灰硬組織標本作製について
 - ③凍結標本作製について
 - ④骨形態計測とは
- (2) 骨形態計測実習 15:00～16:30 (北九州国際会議場 2F 21 会議室 AB)
- (3) 公開座学 16:40～17:40 (北九州国際会議場 2F 国際会議室)
- 「骨形態計測学的にみる骨粗鬆症治療」

- (講師) 江尻 貞一 (朝日大学歯学部 口腔解剖学)
- 山本 智章 (新潟リハビリテーション病院 整形外科)
- 田中 伸哉 (埼玉医科大学 整形外科)
- 関 あずさ (ハムリー(株) 筑波研究所)
- 高尾 亮子 (旭化成ファーマ(株) 薬理研究部)
- 高倉 綾 (旭化成ファーマ(株) 薬理研究部)
- 泉 恵子 (ライカマイクロシステムズ(株))
- 島倉 剛俊 (新潟骨の科学研究所)
- 大和 英之 (東海大学医学部 腎内分泌代謝内科)
- 長田 康志 (ショーシン EM (株))
- 松井 謙治 (株)システムサプライ)
- 岩崎 香子 (大分県立看護科学大学 人間科学講座)

7月4日(木)

第1会場 メインホール (1F)

17:50～18:50 イブニングセミナー1

座長：曾根 照喜 (川崎医科大学 放射線核医学)

共催：(株)島津製作所

X線TVシステムによる骨解析の可能性

山本 淳也
(株)島津製作所 医用機器事業部 技術部

トモシンセシスによる骨折リスク評価

青木 隆敏
産業医科大学 放射線科